

○第5 回情報連絡会 技術提案内容の概要等

提案番号	会社名	製品名・技術名	技術概要	お問い合わせ先	プレゼン整理番号	パネル整理番号
1	アシオット株式会社	エッジAI型の自動点検・検針サービス「A Smart (エースマート)」	A Smartは電源・ネットワーク工事不要で既存メーター検針・設備点検をDX化するサービスであり、下記特徴があります。 1) 当社のFALCON 201/501 (後付けAIoTカメラ)は、既存のインフラメーター (電気・ガス・水道) や工業計器 (圧力計や温度計等) に対応し、エッジAI解析を利用して、カメラで撮影した計器の画像から自動的に指針値を読み取る。これにより遠隔検針が可能となり、作業員の検針・点検作業を簡素化する。 2) 当社のエッジAIエンジンは、計器の画像認識だけでなく、通常目視による点検が必要とされる問題にも対応可能。例えば、クラック・浮き・露筋・錆、ひび割れや剥落・損傷などの異常箇所、異物の侵入、管体の劣化といった状況に対しても、AIを適切に学習することで効果的に対応が可能。 3) 検針以外、FALCON 501にて漏水センサー、收音センサー、匂いセンサーなどが加わったことにより、他の変化を検知でき、設備の異常を早期発見できる。 4) 既存Excelの点検表・検針表などの報告書式に自動的に出力可能。 5) デバイス側異常をリアルタイムに監視・検知可能、異常事象に対する早期対策や調査・予算の軽減をサポート可能。	担当者：盛本 電話番号：042-860-6130 メールアドレス：sales@asiat.jp	1	1
2	株式会社ディライト	多言語電話ボット「ディライト」	ディライト社では、着信・発信の電話応対を自動化・半自動化する電話ボットを提供しています。30言語以上に対応し、ヨーロッパの国から日本の上場企業など4カ国で利用されています。 システム開発だとか月数百万円などかなり実際利用できるかどうかもわからない場合手探りの状態ではないといけません。弊社の仕組みはSaaSなので設定で数時間から複雑なコールフローでも数日で電話ボットコールセンターが立ち上げ可能です。無料トライアル期間もあります。 多言語30言語以上に対応していますので英語、中国語、韓国語、ベトナム語等にも対応可です。 ・ISO27001(ISMS)認証取得済	担当者：案野 裕行 電話番号：090-3904-5607/03-4588-9109 メールアドレス：anno@dit.fit	2	2
3	古河産業株式会社	配水池点検船・運用を停止せずに配水池、貯水池内部の点検作業を実施いたします	・現在、配水池内部の点検は放水後に作業員が内部を点検しており、放水の期間や手間が課題となっています。 当社は人力での作業に変わり、水上ポートにカメラを搭載し壁のキズの状況や変状などを撮影し点検します。 撮影したデータは動画、静止画、オルソ化などが可能です。また、既存の調書に落とし込むことが可能となっております。 データは蓄積することも可能なので状態の変状の推移などもしっかり記録することができます。	担当者：高祖 電話番号：090-4619-7091 メールアドレス：satoshi.kousou@fukurawaelectric.com	3	3
4	Fracta Japan株式会社	フラクタAI管路劣化診断	弊社では、事業者様から頂く管路属性情報 (布設年、管種、口径、位置情報等) と漏水履歴及び弊社が独自に構築している膨大なデータからなる環境データを活用して、埋設管路に対してAIによる劣化診断を実施している。これにより、経年や法定耐用年数だけでなく、よりリアルな管路の劣化リスクを掘削することなく把握可能となる。診断結果は管路1本1本に対して算出し、既存のマッピングシステム等に読込可能な形式 (shpファイル等) でご提供する。活用用途は主に中長期の更新計画の見直し、アセットマネジメントの精緻化、漏水調査のスクリーニングなどにご利用頂くことが多く、国内約50の事業者様、全世界で約140の事業者様に対して診断実績があり、この分野では最も実績、学習データが多いと自負している。	担当者：井原 正晶 電話番号：03-4446-7020 メールアドレス：mihara@fracta.ai	4	4
5	三井情報株式会社	製品名：AssetWatch	設備 (機器) の振動分析による予兆検知、故障解析・診断サービスです。ポンプ等の回転機器に対して、IoTセンサーを設置し、回転機器の監視・予兆検知、故障解析を行います。AIを搭載したクラウドシステムがセンサーデータを24時間監視しており、異常の予兆を検知した場合は、専門技術者がリモートで詳細に分析を行いアラート及び対応策をお客様に通知。突発的な故障によるダウンタイム (設備停止) を防止します。また、技術者は振動分析に関する国際的な資格を保有しており、彼らが確認するセンサーデータ (振動数や機器表面温度など) は、専用クラウドプラットフォームにてお客様自身でも確認が可能です。	担当者：當眞、宮園、本庄、荒谷 電話番号：03-6376-1257 メールアドレス：aw-sales-dg@mki.co.jp	5	5
6	フリースタイル・テクノロジー・ジャパン株式会社	【韓国自治体様トプシエ】水道自動検針システムによるデータ利活用 (区画管理と漏水検知で無収水削減、高齢者様見守り)	【区画管理機能でデータを階層別に管理！親子メーターの差分による異常分析】スマート水道メーターのデータを自動検針システムとして取得し、請求データに落とし込むシステム。メーター設置エリアをブロック管理することで漏洩箇所の推定 (区画管理)。異常通知機能と遠隔開閉機能による対応迅速化。地図連携による訪問効率の向上。エリア担当別のマルチテナントシステム他を標準搭載。生活データの解析による独居高齢者様の見守りとしても実装済み。	担当者：水本 智也 電話番号：03-5530-8876 メールアドレス：tomoya.mizumoto@freestyleiot.com	-	6
7	株式会社管総研	設計積算CADシステム【AQUA- SUPER】	提案技術の概要や、本技術によりどのようなことができるか、具体的に記載してください。 CADで作図した配管図等の図面情報から、自動で材料・管工事・土工事数量を算出し、積算明細書書へ自動計上できるシステム。数量計算結果は、各種数量計算書として印刷・電子ファイルへ出力可能です。また、配管詳細図、横断面、縦断面、舗装本復旧図等の各種図面の自動作成も可能です。	担当者：田附 電話番号：06-6470-6300 メールアドレス：yoshio.tazuke2@kubota.com	6	7

○第5回情報連絡会 技術提案内容の概要等

提案番号	会社名	製品名・技術名	技術概要	お問い合わせ先	プレゼン整理番号	パネル整理番号
9	株式会社クボタ	遠隔監視可能な残留塩素濃度管理システム	<ol style="list-style-type: none"> 1. 配水管から取り出した水道水の残留塩素濃度を、センサにより事前に設定した測定間隔で計測する 2. 計測した残留塩素濃度値をデータ通信し、リアルタイムのデータを監視アプリ上に表示する 3. 残留塩素濃度が設定の下限値を下回った際、コントローラから信号を送り電磁弁を開くことにより排水を開始する 4. 残留塩素濃度が設定の基準値に回復した際、コントローラから信号を送り電磁弁を閉じることにより排水を停止する 5. 残留塩素濃度センサ・通信機能付きコントローラ・電磁弁は、ユニット化しており、量水器ボックス内に設置することができる 	担当者：西横伸充 電話番号：080-8935-0068 メールアドレス： nobumitsu.nishimaki@kubota.com	-	8
10	ジャパン・トゥエンティワン株式会社	光ファイバーセンシングを用いた漏水調査（DALI）	<ul style="list-style-type: none"> ・光ファイバーを水道管内に挿入し、漏水音を他の音と識別し検知することで、5mの精度で漏水を確認することができます ・短期的な調査、常時監視、両方での利活用が可能です。 ・当社は、これまで衛星画像解析による漏水検知を国内で展開し、80を超えるプロジェクトでご採用頂きました。一方で、衛星画像解析では対応が難しい課題も残存しています。 ・大口径、埋設深度の深い管路の漏水調査・ピンポイントでの漏水確認 ・導水管、送水管等の漏水調査・高い精度の常時監視技術 ・計画性、継続性のある管路調査維持手法 これらの課題に対し、光ファイバーセンシングを以って、短期的な漏水検知や、中長期的な常時監視体制を実現することができます。	担当者：奥村崇之 電話番号：03-6775-7450 メールアドレス：utilis@japan21.co.jp	-	9
11	株式会社エイト日本技術開発	AUV（自律型無人潜水機）を活用した貯水池の水質管理	【想定する調査対象施設】 貯水池 自律型無人潜水機（Autonomous Underwater Vehicle）は、コンピュータと各種センサー類を搭載した水中ロボットである。予め設定したルート（コース・深度）をAUVに自律航行させ、搭載した多項目水質センサーで貯水池内の水質（水温、DO、pH、クロロフィル、フィコシアニン等）の三次元データを取得する。	担当者：小谷 電話番号：06-6397-0753 メールアドレス：kotani-yo@ej-hds.co.jp	-	10
12	S S Kファシリテーズ株式会社	S P T 配管診断による水道配水管の劣化診断	当技術は、X線透過デジタル画像の濃淡差を数値化することで配管の腐食深さを正確に測定することの出来る弊社の特許技術である。対象配管の厚みを高精度で解析し、残存寿命を年単位で診断出来ることに加えて非破壊かつ断水せずに測定可能なため配水管、給水管、水管橋、橋梁添架管、施設内各種配管の配管劣化診断に大変有効である。	担当者：安井 電話番号：011-868-5000 FAX番号：011-868-5001 メールアドレス：yasui@ssk-fa.co.jp	7	11
13	一般社団法人 日本水中ロボット調査清掃協会	水中ロボット・水中ドローンによる配水池劣化調査	型式認定された専用の配水池清掃用水中ロボット（消毒済）で底面を清掃後、搭載した高精度カメラにより底面塗装の剥がれやクラック、壁面のクラック、天井面の鉄筋爆裂や剥がれ、内部配管の腐食劣化状況を配水池の水を抜くことなく安全に調査することが可能である。壁面や天井面については高精度カメラを搭載した水中ドローンを併用することで厚生労働省の「水道施設の点検を含む維持・修繕に関するガイドライン」に基づき、より詳細な劣化調査が可能である。	担当者：専務理事 鍋島 正憲 電話番号：03-6271-0103 メールアドレス：info@jwrca.or.jp	-	12
15	One人事株式会社	One人事Publicタレントマネジメント、One人事PublicAI	人材マネジメントのための職員データの集約・見える化・分析・適材適所への職員配置案の提案、離職・問題行動等分析及び予兆発見 One人事Publicタレントマネジメントに点在している人事データを集約・管理し、そのデータをOne人事PublicAI（AI）により分析を実施することで課題解決の提案を実施します。 ・業績/目標管理、職務経歴、資格・力量・教育受講管理、360度評価、エンゲージメント調査/管理、アセスメント評価等はOne人事タレントマネジメントでも実施が可能です。	担当者：古財 恵二 電話番号：03-5767-8933 メールアドレス：kozai.keiji@onehr.jp	-	13

○第5回情報連絡会 技術提案内容の概要等

提案番号	会社名	製品名・技術名	技術概要	お問い合わせ先	プレゼン整理番号	パネル整理番号
16	One人事株式会社	One人事Publicタレントマネジメント	<p>研修効果測定システム</p> <p>研修受講の効果向上についてコンサルティングを行います。更にアンケートによる追跡調査のみではなく、タレントマネジメントによる行動、能力、業績等の多面的な側面から評価を行い、期待考課を得るための打ち手を示唆します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの内容についてノウハウ支援を実施し効果的なアンケートを実現します。 ・事前、事後及びフォロー調査を実施します。 ・タレントマネジメントの業績、スキル、情意、コンピテンシー管理及び360度評価等の側面からも分析を行い教育の効果、どこに影響があったかを分析し改善を示唆します。 ・キャリア開発における自律的教育受講をタレントマネジメント機能でサポートします。 	<p>担当者：古財 恵二</p> <p>電話番号：03-5767-8933</p> <p>メールアドレス：kozai.keiji@onehr.jp</p>	-	14
17	株式会社JECC	簡易台帳アプリケーション（水道標準プラットフォーム上で提供されるwebアプリケーション）	<p>水道施設情報の一元的なデータ管理・運用を行うための基盤として、水道標準プラットフォーム上で簡易台帳アプリケーションを提供しております。</p> <p>簡易台帳アプリケーションを導入することにより、水道法改正「台帳整備の義務化」に伴う台帳整備はもとより、広域連携及び災害対策強化のために必要な台帳情報を、水道事業者様が簡単に整備することが可能となります。</p> <p>【補足】</p> <p>水道情報活用システムは、水道事業者等がデータを横断的かつ柔軟に活用できるように国が定めた標準化の仕組みです。デジタル田園都市国家構想総合戦略において導入支援が閣議決定されております。</p> <p>水道情報活用システムは、アプリケーション、プラットフォーム（水道標準プラットフォーム）、ゲートウェイ - デバイス・システムの3つの階層で構成され、そのデータ流通に係る仕様が標準化された仕組みの総体を指すものに対し、プラットフォームは、水道情報活用システム上でデータを流通させる上で、データ蓄積・流通基盤として機能する「核」としての役割を担うクラウド基盤であり、これを「水道標準プラットフォーム」と呼んでいます。</p>	<p>担当者：久保智義</p> <p>電話番号：03-3216-3605</p> <p>メールアドレス：kubo-tm@jecc.com</p>	-	15
18	株式会社 日立システムズ	CYDEEN 水インフラ監視サービス（水質監視）	<p>CYDEEN水インフラ監視サービスの一つである、水質監視サービスは、末端地域における残留塩素濃度確保や定期的な水質確認作業の効率化、安全な水の供給を目的として、リアルタイムに残留塩素濃度を監視するシステムをご提供します。</p> <p>クラウド技術を活用することで遠隔監視が可能となり、水質をリアルタイムで監視することができます。末端地域における遠隔監視と排水作業の自動化により、効率的な残留塩素濃度確保をすることができます。</p> <p>水質監視サービスは、以下の特長を有しています。</p> <p>（1）配水末端地域などにおける残留塩素濃度確保</p> <p>人口減少や過疎化、当初計画からの用地変更により、配水末端地域において水の停滞が多くなり、残留塩素濃度低下件数が増えています。それに伴い、現場調査と排水作業及び排水量の増加が問題となっています。遠隔監視と排水作業の自動化（ ）により、効率的な残留塩素濃度確保を実現します。そのほか、災害時応急給水拠点に設置されている災害用貯水タンクに設置することで、災害時の円滑かつ安全な給水拠点の開設が期待できます。（ 遠隔自動排水はオプション機能です。）</p> <p>（2）定期的な水質確認作業の効率化</p> <p>災害用貯水タンクなどでは、人の手による定期的な水質確認作業と排水作業が実施されており、施設管理者の負担となっています。この作業を自動化することで、作業負担の軽減が期待できます。</p> <p>（3）安全な水の供給</p> <p>水質確認の機会を増やすことで、水道法基準の「蛇口で塩素濃度0.1mg/L以上の維持」の維持にご活用ください。</p>	<p>担当者：古賀純子</p> <p>電話番号：03-5435-7832</p> <p>メールアドレス：junko.koga.rg@hitachi-systems.com</p>	-	16

○第5回情報連絡会 技術提案内容の概要等

提案番号	会社名	製品名・技術名	技術概要	お問い合わせ先	プレゼン整理番号	パネル整理番号
19	株式会社 日立システムズ	CYDEEN 水インフラ監視サービス（流量監視）	<p>CYDEEN水インフラ監視サービスの一つである、流量監視サービスは、平常時における管路の流れの可視化や、災害時に管路の異常の特定、管網解析の精緻化をするために、リアルタイムに流量を監視するシステムをご提供します。</p> <p>クラウド技術を活用することで遠隔監視が可能となり、流量をリアルタイムで監視することができます。流量監視サービスは、以下の特長を有しています。</p> <p>（１）設備投資判断に活用 配水ブロック内の水道利用実態（流量・流向）を定量的かつ正確に把握することで、配水管修繕や更新の適切な設備投資判断に活用できます。布設替の管径決定、配水ブロックの検討、配水池給水区域の把握などが容易に行え、拡張設備の検討や維持管理の向上が期待できます。</p> <p>（２）事故や災害時に管路の異常を速やかに特定 流量計測ポイントを増加することで、水の流れがわかりやすくなり、漏水の迅速な把握につながります。事故や災害時は漏水状況に応じた配水調整を行うことができるとともに、断水範囲の局所化により水道復旧が必要な箇所の特定に役立つため、復旧時間の短縮、復旧作業者の作業効率向上が図れます。</p> <p>（３）管網解析の精緻化 付近の埋設室に、断水なしで後付()することが可能なため、いままで計測できなかった場所での流量監視が可能となります。さらに、水圧データや管路情報との組み合わせにより管網解析の精緻化を図ることができます。</p>	<p>担当者：古賀純子 電話番号：03-5435-7832 メールアドレス：junko.koga.rg@hitachi-systems.com</p>	-	17
20	株式会社 日立システムズ	CYDEEN 水インフラ監視サービス（水圧監視）	<p>CYDEEN水インフラ監視サービスの一つである、水圧監視サービスは、上水道の安定的な水供給を実現するために配水小管の消火栓や減圧弁などで水圧をリアルタイムに監視するシステムをご提供します。</p> <p>クラウド技術を活用することで遠隔監視が可能となり、水圧をリアルタイムで監視することができます。水圧監視サービスは、以下の特長を有しています。</p> <p>（１）災害時などの水道復旧の迅速化 重要施設（病院、駅、避難所など）周辺の消火栓に後付けて設置し、災害時などの異常発生時の対応に活用できます。水道復旧が必要な箇所の特定に役立つため、復旧作業の効率が向上し、復旧までの時間短縮が図れます。</p> <p>（２）減圧弁の保全、故障箇所の早期発見 減圧弁付近の消火栓や空気弁に後付けて設置し、配水管破損の原因のひとつである減圧弁の故障を早期検知することが可能です。故障発生時の修理・応急処置の早期実施に役立つため、配水管破損や漏水発生などの水道事故防止、復旧工事や給水車による応急給水対応の最小化が図れます。</p> <p>（３）浄水場から遠距離エリアの安定的な共有の監視 浄水場から遠距離にあるエリアは水圧の過不足が発生しやすい傾向にあります。消火栓に後付けて設置し、水圧をリアルタイムに監視することで水道が安定供給されているかを確認することが可能です。</p>	<p>担当者：古賀純子 電話番号：03-5435-7832 メールアドレス：junko.koga.rg@hitachi-systems.com</p>	-	18
21	株式会社 日立システムズ	CYDEEN 劣化要因分析支援サービス	<p>劣化要因分析支援サービスは、設備機器に関する既存の維持管理データ（諸元、点検、補修データなど）をAIで分析し、施設や設備の損傷状況、健全度を予測することでインフラ施設や設備の点検・補修計画の立案を支援するサービスです。</p> <p>劣化要因分析支援サービスは、以下の特長を有しています。</p> <p>(1) AI（機械学習）による分析で、点検・補修計画の立案時間を削減 人が行っていた点検・補修優先箇所の優先順位付けを、AI（機械学習）を利用した損傷予測や健全度予測により省力化することができます。</p> <p>また、分析した結果を活用することで、効率的な点検・補修計画の立案が可能です。</p> <p>(2) 施設や設備を限定せず、さまざまな分野で分析可能 これまでお客さまが蓄積してきた維持管理データ（諸元、点検、補修など）があれば、インフラ施設や設備の種類を問わず劣化要因分析が可能です。</p> <p>(3) 損傷状態を「見える化」し、点検・補修箇所の見落としを防止 施設の劣化状態をグラフィカルに表示することで、点検・補修優先箇所の見落とし防止や点検・補修の優先順位付けに活用することができます。</p>	<p>担当者：古賀純子 電話番号：03-5435-7832 メールアドレス：junko.koga.rg@hitachi-systems.com</p>	-	19

○第5回情報連絡会 技術提案内容の概要等

提案番号	会社名	製品名・技術名	技術概要	お問い合わせ先	プレゼン整理番号	パネル整理番号
22	株式会社 日立システムズ	CYDEEN 維持管理システム	維持管理システムは、設備の台帳管理、現場作業の効率化、予備品管理、設備稼働データの管理や予算管理など保全業務のPDCAサイクルを支援します。 維持管理システムは、以下の特長を有しています。 (1) 保全計画の立案から点検・故障履歴など設備情報を一元管理 設備・機器・部品の構成情報に合わせて設備データを階層立てて管理できるため、データの一元管理ができます。図面や取扱説明書などの設備に関するドキュメントやファイルを管理できます。 (2) タブレットを活用し、点検票記入作業の時間軽減 タブレット機能を利用することで、点検リストの入力チェック、トレンド表示や写真撮影など、現場での作業記録の精度向上および作業効率化を実現します。 (3) システムの柔軟性・拡張性 台帳や管理項目を業務に合わせて変更できるため、新しい業務の追加や変更などが発生した場合でも、柔軟に対応することができます。 他システム連携も対応が可能です。	担当者：古賀純子 電話番号：03-5435-7832 メールアドレス：junko.koga.rg@hitachi-systems.com	-	20
23	ジオサーチ株式会社	Leica Zeno FLX100を活用した地下埋設物の可視化（地上・地下インフラ3Dマップの効果的活用提案）	Leica Zeno FLX100スマート受信アンテナを活用し、高精度GNSS（水平方向2cm未満、深度3cm未満）で精度の高い地下埋設物の3Dモデル（地上・地下インフラ3Dマップ）などを現地に投影し、水道管のほか他企業埋設物も可視化することで、地下埋設物協議における立会業務の円滑化や工事に起因する事故削減に寄与します。 技術協力：株式会社イクシス（Leica販売代理店）	担当者：澤井 崇 電話番号：06-7654-0477 メールアドレス：t-sawai@geosearch.co.jp	8	21
24	フジコム株式会社	地理情報プラットフォームを活用した配水状況把握による有効率向上について	地理情報プラットフォームを活用し、遠隔監視データ、流量・水圧・音圧その他データを一元化し可視化することで配水状況把握が容易となり不明水量削減及び適正配水管理に寄与する。 地理情報プラットフォーム：既存マッピングシステムやセンサーなど、様々な情報を地図に重ねて可視化するシステムである。モバイル端末でのアクセスを可能にし、現場とのリアルタイムな情報を共有することにより維持管理業務の効率化を可能とする。 IoT遠隔漏水監視システムLNL-C：携帯通信網の採用とクラウド処理技術の開発により、超高感度センサーで捉えた漏水音圧データを金属蓋下よりLTE-Mでクラウドサーバーを介し、独自のアルゴリズムにより毎日漏水判定されたデータをモバイル端末に送信する。 水圧流量監視システムDLC-04：アナログ2ch、4種類(1-3V,1-5V,0-20mA,4-20mA)の信号入力を備えた水圧計、流量計などの現場測定機器より取得したデータを携帯網及びインターネット網で回収を行い、専用クラウドアプリにより、水道管路機能の監視を行うものである。	担当者：山本 電話番号：03-3865-2960 メールアドレス：y-yamamoto@fujitecom.co.jp	9	22
25	株式会社日立製作所水環境営業統括本部	DXプラットフォーム	水道事業の広域化を見据え、サービス連携や情報活用を支援する基盤を提供します。 DXプラットフォームの特徴として アプリケーションインタフェースの統一、外部連携、共通業務である保守の一元化が挙げられます。 これにより、事業者が保有する各浄水場の水量、水位、水質などの運転データや日常の巡回点検結果のデータを収集するデータ蓄積から始め、広域監視制御、アセットマネジメント、AIによる運転支援等データ活用への段階適用が可能です。 また、水道広域化においてデータ相互連携やデータ活用等へ柔軟な対応を実現するため「水道標準プラットフォーム」標準仕様にも準拠しております。	担当者：社会ソリューション第一営業本部 社会イノベーション戦略部 岩本 圭介 電話番号：080-5492-8924 メールアドレス：keisuke.iwamoto.tz@hitachi.com	-	23
26	株式会社日立製作所水環境営業統括本部	問合せ応答ソリューション	事業者様が管理している各種マニュアル、手順書、報告書等をナレッジとして学習し、様々な問い合わせに対してA Iが自然言語で回答し、日常の業務や緊急時対応を支援します。 ■ 生成型AIのインターフェースで「現場が欲しい回答」を実現させる効果が期待できます。 ■ 発生頻度の低い業務等に対する対処マニュアルとして、熟練者の経験やノウハウを蓄積し、AIが疑問に対する回答を自動生成します。 ■ 導入後もユーザー自身で継続してノウハウや管理情報を蓄積することが可能です。	担当者：社会ソリューション第一営業本部 社会イノベーション戦略部 岩本 圭介 電話番号：080-5492-8924 メールアドレス：keisuke.iwamoto.tz@hitachi.com	-	24
27	IQGeo Japan株式会社	災害時に備える地図プラットフォーム Network Manager	能登の震災復旧が現在も懸命に行われている中で、いかに迅速な被害状況の収集ができるかが重要であると言われており、被害復旧の段階によって対応が変わってきますが、電波が届かない最中はオフラインのモバイル端末で管路の布設情報を地図上で確認できます。現場作業者が各自、現場の状況や写真をアップし、局内ではそれらの収集された被害状況のとりまとめを行います。現場作業や給水車のGPS情報を地図上にプロットすることで局での適切な指示が可能となります。 また気象情報や通れた道の情報などの外部のデータも地図上で合わせて可視化することでより迅速な復旧作業を支援します。 平時の点検等にも利用することで、いつもの操作で情報共有ができます。	担当者：後藤 紫 電話番号：090-6568-5637 メールアドレス：info.jp@iqgeo.com	-	25

○第5回情報連絡会 技術提案内容の概要等

提案番号	会社名	製品名・技術名	技術概要	お問い合わせ先	プレゼン整理番号	パネル整理番号
28	株式会社ニュージェック	リアルタイム水圧データを活用した漏水検知システム	<ul style="list-style-type: none"> ・当社が開発する漏水検知システムは、配管圧力（静水圧・動水圧）に着目した、水理学に基づく（面的な解析による技術）。 ・管網の水圧分布から単位法線ベクトルを求め、通常時と漏水時の変化量から漏水を検知する独自開発のアルゴリズムを使用します（令和4年11月特許登録済み）。 ・水圧データを計測する圧力計は不断水で設置可能であり、機器自体も安価で、流量計に比べ設置のハードルが低い利点があります。 ・取得したデータは伝送装置からインターネットを経由して事務所のサーバやクラウドサーバへ転送され、机上（PCやタブレット端末等）でデータ確認が行えるシステムとしております。 ・漏水調査範囲を概ね300～500m四方（配管延長6km程度）の範囲で特定し、調査範囲を削減し、調査人員や費用を削減します。 	担当者：水谷 誉 電話番号：06-6374-4392 メールアドレス：toiawase_rosui@newjec.co.jp	-	26
29	株式会社 日立製作所	地中可視化サービス	<p>本サービスは、実際の地下埋設管の情報を、上下水道、ガス、電気、通信などの道路占用事業者、設計事業者、施工会社等に対して提供するものです。</p> <p>地下埋設管は管理が難しく、位置把握のために図面を収集するも、道路の拡幅等による基準点のズレや、図面情報と実際の埋設結果が異なる場合などあり、掘り起こしに伴う工事の際は試掘等の目視確認を行うものの、施工時の埋設管損傷等の事故は頻発しています。これらの課題を解決するのが本サービスであり、実際に埋設されている管の位置情報をレーダーで取得し、AIを用いて解析を行うことで、図面情報ではなく実際の埋設管の位置を基にした情報をご提供します。</p> <p>また、地下埋設管の情報のCADでのご提供や、お持ちの図面情報と重ね合わせ三次元化してご提供することも可能となります。これにより、設計、施工業務における効率化や手戻り防止、事故削減等をこれまで以上に支援することが可能となっています。</p>	担当者：田川 大介 電話番号：080-1032-9369 メールアドレス：daisuke.tagawa.cu@hitachi.com 担当者：福島 直子 電話番号：070-4064-3090 メールアドレス：naoko.fukushima.og@hitachi.com	10	27